

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

## 事業名 リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,756 千円 (現計予算額： 4,650 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	4,650	0	0	0	0	0	0	0	4,650
補 正 要求額	3,756	0	0	0	0	0	0	0	3,756
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月8日から5類感染症に移行したことに伴い、患者数の把握は、県が指定する定点医療機関(県内87医療機関)からの週に1回の報告になったため、県内の感染状況をよりの確に把握することに限界がある。

これまでと同様の発生動向を確認し、広く周知するためには「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス」を活用する必要がある。

### (2) 事業内容

県内のインフルエンザ及び小児感染症の患者発生状況について、Web上でデータ収集し、自動的に集計、公表を行う(一社)岐阜県医師会が運営する「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス」の運用に対する補助事業。

新型コロナ感染症患者情報についても、「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス」を活用することから、システム改修を実施。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

### (4) 類似事業の有無

無し

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,756	システム改修経費に対する補助金
合計	3,756	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

岐阜県感染症予防計画

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県医師会 (理由) システムを運営しているため。
補助事業の概要	(目的) 県民や医療関係者に感染症の予防啓発を行う。 (内容) 県内のインフルエンザ及び小児感染症、新型コロナウイルス感染症の発生状況を把握、集計・分析し、県民や医療関係者に情報提供を行う。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 県10/10 (理由) 岐阜県感染症発生動向調査事業に係る患者情報の収集について、本システムを利用しているため。
補助効果	各地域において、医療機関や保健所等の関係者が感染症の流行状況を共有しながら、その状況に応じた医療体制を構築することができる。
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 継続的に実施予定の事業であるが、事業内容の見直し時点として設定。

### (事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行う。</p>
--

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H21年度末)	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	
		実績	目標	目標	(R5)	達成率
① 正確で迅速な情報発信	50%	100%	100%	100%	100%	100%
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	1,500	1,500	1,500

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	インフルエンザ流行期において、県内約300医療機関のインフルエンザ受診患者数、県内すべての学校の休業状況を把握し、地図、グラフ等を用い、地域別の発生状況の詳細を毎日、ホームページ上に公表した。
	指標① 目標：100 実績：100 達成率：100 %
令和3年度	インフルエンザ流行期において、県内約300医療機関のインフルエンザ受診患者数、県内すべての学校の休業状況を把握し、地図、グラフ等を用い、地域別の発生状況の詳細を毎日、ホームページ上に公表した。
	指標① 目標：100 実績：100 達成率：100 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	流行状況を迅速にかつ地域別に把握することで、流行地域に対して注意喚起を行う等、地域で必要な対策を行うことができる。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	インフルエンザによる学校休業状況をお知らせするメールマガジンを配信しており、2万4千人以上の方に登録いただいている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県医師会に委託することにより、医師会員のネットワークを通じて迅速に情報を入手することができる。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っていることから、引き続き行っていく。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っており、継続すべき事業であるため引き続き行っていく。</p>
---